

『やり抜く力!』



新町商店街協同組合

代表理事

かわかみ ゆうじ

川上 雄司

山口商工会議所 1号議員
(有)ナカタ時計店 代表取締役

1965年生まれ。山口市出身。進学を機に上京し、卒業後はすぐに帰山。父の経営する(有)ナカタ時計店に入社した。2007年に新町商店街協同組合の代表理事に就任し、現在にいたる。趣味は料理で、夕飯を作るのが日課。

【組合概要】

新町商店街協同組合

住 所：山口市道場門前 1-3-5

T E L：083-925-3456

新町商店街について教えてください。

魔法の屋根から川沿いの道までの片屋根の商店街です。アーケードがあるので、雨の日でもお買い物を楽しんでいただけますし、ケヤキ並木につたが絡まる四季を感じられる商店街です。20店舗程の商店街で、まとまりもよく全員で協力しようという体制が整っていますので、独自のイベント企画などに取り組んでいます。新町のキャラクター「しんまちくん」は、通りに並ぶケヤキの

木をモチーフに作ったものです。ケヤキ並木は、どこかヨーロッパの並木通りを思わせる雰囲気があり、この通りを利用して、マルシェを開催していたこともあります。

生い茂るケヤキの葉が屋根に溜まってきたということで、6月にはみんなで屋根の上の清掃を行いました。以前は男性中心にやっていましたが、最近では女性も屋根に登って清掃しています。女性が元気な方が、まちが元気ですね(笑)。

新町商店街協同組合は1986年に設立され、



新町のキャラクター「しんまちくん」。ケヤキの木をモチーフにした可愛い男の子です

当初は私の父が代表理事を勤めていました。2007年に父が代表理事を退くことになり、そのまま引き継ぐような形で私が代表理事に就任しました。

川上代表のプロフィールを教えてください。

現在の(有)ナカタ時計店の2階が私の実家です。生まれたときから高校卒業するまで新町商店街で過ごしました。高校卒業後に上京し、4年間を東京で過ごしました。東京では経営経理専門学校と彫金専門学校に通いました。最初に東京に行くときは、山口に戻って店を継ぐことなどは全く考えていませんでしたが、彫金専門学校に通うことになったころには、山口に戻って店を継ぐという意志は固まっていました。東京で、彫金や宝石のデザインを学び、山口に戻ってからもその技術を活かして仕事をしたいと考えていました。

1987年に帰山し、父が経営していた



新町商店街はケヤキ並木の美しい商店街です



新町商店街の中程にある「パリーノ」

(有)ナカタ時計店に入社しました。時計のオーバーホールなどを従兄弟の元で学びながら、少しずつ技術を身につけました。時計というのは、細かい部品ばかりの精密な機械です。最初の頃は本当に失敗の連続でしたが、それでもやり続け、今では年間数百本の時計のメンテナンスを行うことができるようになりました。私は、時計をとっても愛しています。特にヴィンテージの時計をオーバーホールし、綺麗に磨き上げて再び命を吹き込む事で、また新たにお客様の手元にお届けするのは、まるで手塩に掛けた我が子を嫁に出すような気持ちです。目に大きな負担がかかるのは確かなようで、最近では、日常でもかなり度の入った眼鏡をかけないと遠くが見えません。目だけは60代くらいかもしれませんね(笑)。

2007年6月に私が(有)ナカタ時計店の代表取締役役に就任し、現在に至ります。

「(有)ナカタ時計店について教えてください。」

1898年に創業された時計と宝石のお店です。創業者は中田さんという方だったのですが、私の父が2代目の社長から事業を承継して3代目の経営者になり、創業者から数えて私は4代目になります。

1994年6月に、パリーノ・インターナショナルをオープンし、私が店長になりました。当時はブランドブームで、パリーノも新品のブランド品を販売するお店としてオープンしました。しかし、ブームは数年で去ってしまい、現在のようにユーズド品を買い取り・販売するお店に方向転換しました。古くから商売を続けている宝石店という地域での信頼が、今の経

営を支えていると思います。ユーズド商品とはいえ、ブランド品は高価な買い物です。しっかりと目と技術で、クリーニングをしてから、お客様にお届けするようにしています。

「やり抜く力!」というスローガンにはどのような意図があるのでしょうか。」

私が、毎日自分に言い聞かせている言葉です。同業者の方々と市場などでお会いすることがあるのですが、みなさんとても頑張っておられます。

40歳になる頃までの私は、仕事が終わって自宅に帰った後の夜の時間は、テレビを見たり、飲みに行ったり、自分の時間を楽しむ事が多かったと思います。ところがある日、同年代の同業者の方々と話していると、「え?!夜飲みに行ってるの? テレビ観てるの?!」と言われてしまいました。彼らはネットショップ



川上代表が日々オーバーホールしているROLEXの時計の数々。1960年代の物もありますが、50年の時を刻んでいるとは思えない美しさ

を運営していて、夜の静かな時間にインターネットにアップするための写真を撮ったり、画像をアップロードする作業を行っている、集中して仕事ができる良い時間だ、と言うのです。周囲がとても頑張っている事に驚かされると共に、私も負けずに頑張ろう、やり抜こう!という気持ちになりました。

それから今日に至るまで、日中はお店で商品のメンテナンスや買い取りの鑑定などの業務を行い、帰宅後は明け方まで時計のオーバーホールを行うという生活を続けています。

お陰様で、年間300~400本のROLEXのヴィンテージ時計を販売することができるようになりました。

私の父は厳しい人でしたが、私にそれほどうるさく言うような人ではありませんでした。結局自分で自分を鼓舞しながら頑張らなければ、現状に満足するだけになってしまうという思いから、毎日自分に「頑張れ!やり抜くぞ!!」と言い聞かせているのです。

「山口市について感じていることを教えてください。」

私が勝手に考えている「まちづくりの三種の神器」というものがあります。1つは商店街、2つ目が飲屋街、3つ目がオフィス街です。この3つが揃っている地域は、自然とまちが元気になり、発展していくのだと感じています。近いところだと、広島や博多はこの3つが全て隣接していて素晴らしい都市だと思います。

山口市の場合は、中心商店街と飲屋街の多い湯田が地理的に離れているし、オフィスも分散しています。これらをうまくつなぎ合わせるが必要ではないでしょうか。

これからの山口市が元気になっていくためにも、都市開発などについてみんなで真剣に考える機会があっても良いのではないかと感じています。

「オススメ情報などがあれば教えてください。」

新町商店街は、ケヤキの木が夏の強い日差しを遮り、秋には紅葉してとても綺麗です。商店街を訪れる際には、是非ぶらりと歩いてみてください。

また、パリーノではインターネットショップ <http://www.parino.jp>も運営しています。商店街のお店にも寄っていただきたいと思いますが、インターネットショップも、是非のぞいて見て下さい。



これからも、毎日自分を鼓舞しながら頑張りたいと思います!